

No.118

2022.9

北いぶき



8月19日・20日、3年ぶりに沼田町夜高あんどん祭りが開催され、JA北いぶきあんどん連として参加しました

Contents

●令和4年 沼田町 夜高あんどん祭り	2	●沼田小学校 メロン体験学習 皿敷き体験	9
●もせうし町民焼肉まつり	3	●絆 ～THE YOUTH FACE～	10
●もせうし豊年盆踊り大会	3	●新青年部盟友紹介	11
●JA北いぶき管内3町のこども園へ野菜をプレゼント	4	●理事会報告	12
●北育ち元気村花き生産組合		●職員動態	12
「生花リレー」でフラワーアレンジメントを寄贈	5	●女性部沼田支部寿会 研修旅行	13
●北育ち元気村花き生産組合		●女性部妹背牛支部 部員研修旅行	13
花き品種・資材展示会 組合員交流会	5	●青年部妹背牛支部 豊年祈願出店祭り	14
●令和4年産 麦の収穫・集荷が行われました	6	●女性部妹背牛支部 役員連絡委員合同1日親睦会	14
●秋まき小麦 播種前講習会	7	●JAグループ通信	15
●北いぶきメロン生産組合 目揃い会	8	●JA共済 農業用建物内収容品保障プラン	16・17
●北いぶき蔬菜類生産組合 ミニトマト目揃い会	8	●PHOTOだより	18
●コープさっぽろ 「田んぼの生き物調査隊」ツアー	9		

ホームページ <http://www.ja-kitaibuki.or.jp/>

JA北いぶき

検索



ホームページでも情報を
発信しています
ぜひご覧ください！



令和四年 沼田町 夜高あんどん祭り



夜高踊りを披露するJA女性部の皆さん

八月十九日・二十日、新型コロナウイルスの影響で二年連続中止していた北海道三大あんどん祭りの一つ「沼田町夜高あんどん祭り」が、三年ぶりに五穀豊穡を祈願し開催され、二日間で六万三千人が訪れました。

心配されていた天候も崩れることは無く、町内をあんどんが練り歩き、北海道の夏の終わりを告げる道内唯一の「喧嘩あんどん」として勇壮華麗、迫力のあるぶつけ合いと煌びやかな山車が沿道の観客を魅了しました。

あんどんの製作では、JA職員の応援と青年部盟友・女性部員は日中の農作業でお疲れの中、夜中に集まり連日に亘り約三カ月製作を進めてきました。

当日は、各支部青年部盟友、女



あんどん後部からも客席を盛り上げました

性部員、役職員等が参加して、大小二基のあんどんをはじめ、夜高踊りに笛や太鼓を奏でながら町内を練り歩き、夜高節に合わせて「ヨイヤサー」と、観客を巻き込んだ囃子で大いに盛り上げました。ご祝儀あんどんは子ども達に大人気で、写真撮影をする親子が後を絶ちませんでした。

フィナーレは、JA・役場・商工会・自衛隊の大型あんどん四基が駅前集結し、夜高節の掛け合い。熱気と興奮に包まれつつ、最高潮で幕を閉じることができました。

また、会場内ふるさと特産品フェアでは、JA北いぶきとして出店し、カットメロンやミニトマト、花束といった管内農産品を販売しました。



3年ぶりの開催

八月七日、妹背牛町総合体育館前特設会場にて、「もせうし夏祭り」の代替イベントとして「もせうし町民焼肉まつり」が開催されました。参加者については妹背牛町民並びに町内企業勤務者に限定した開催となり一五〇人程が集まりました。

会場では、焼肉のほか、JA青年部妹背牛支部をはじめ、町内団体がやきとりやかき氷といった出店を行い、飲食物で祭りに活気をあたえていました。



抽選会でのJA青年部妹背牛支部 長谷支部長 (写真：左)



JA青年部妹背牛支部も出店

また、祭り終盤には豪華景品のあたる抽選会が催され、三年ぶりとなる妹背牛町の夏祭りを盛り上げました。

もせうし町民焼肉まつり



八月十二日、妹背牛駅前通り特設会場にて、参加者を妹背牛町民並び、町内勤務者に限定したなか、三年ぶりとなる「もせうし豊年盆踊り大会」が開催されました。

JAからは、妹背牛支部の青年部・女性部と妹背牛支所職員が参加。青年部の皆さんは、各々がお笑い芸人の仮装で参加し、「もせうしこがね太鼓」に合わせた見事な踊りを披露し、会場を大いに盛り上げていました。

また、青年部は出店での参加もあり、から揚げや揚げたこ焼き等を販売しました。



JA青年部は今年も仮装で参加！



JA女性部とJA職員はおそろいの法被で参加しました

もせうし豊年盆踊り大会



8月8日、
秩父別町青果蔬菜園芸振興協議会
宮西貴志会長（写真：右）



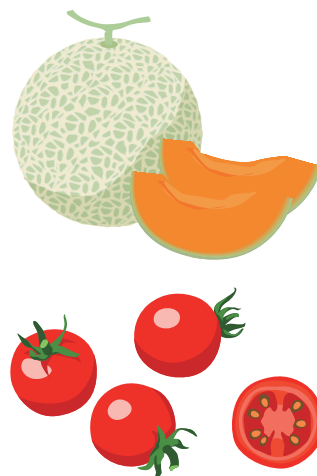
秩父別町青果蔬菜園芸振興協議会・妹背牛町花卉蔬菜振興協議会・沼田町蔬菜振興協議会が各町のこども園へ地場産の野菜をプレゼントしました。

この取り組みは、「子ども達に地場産の野菜を知って欲しい」という生産者さんの想いから、メロンやミニトマト、ブロッコリーなど、北いぶき管内の主な蔬菜品目が各代表者から手渡され、給食として振舞われました。

J A北いぶき 管内三町のこども園へ 野菜をプレゼント



8月4日、
妹背牛町花卉蔬菜振興協議会
原力哉会長（写真：右）



7月19日、沼田町蔬菜振興協議会 広田和行会長（写真：後列真ん中）



JA北いぶき本所に寄贈頂きました。北育ち元気村花き生産組合 田村組合長（写真：右から3人目）



七月十一日、北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長）は、地場産の花を地域住民の方々へ知ってもらい、癒しを届ける目的で、令和二年より続けられている「生花リレー」の取り組みが実施されました。

JA北いぶき管内では、田村組合長・各支部長を中心に、JA北いぶき本所、秩父別町温泉ゆう&ゆ、妹背牛町役場、沼田町役場へ各地区の主要品種を中心とした鮮やかなフラワアレンジメントが贈られ、一週間ほどの期間で展示されました。

北育ち元気村花き生産組合 「生花リレー」で フラワアレンジメントを寄贈



色とりどりの鮮やかな花々が展示されていました

七月二十日、北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長）は、北空知広域連花きセンター集荷場にて花き品種・資材の展示会を開催し、花き生産者約六〇名が参加しました。

種苗会社六社による花き品種の展示では、スターチスやダリアなど北育ち元気村花き生産組合で定番の品種が多く揃っていました。展示会を訪れた生産者は、生産者同士や種苗会社関係者との意見交換を行いました。

北育ち元気村花き生産組合 花き品種・資材展示会 組合員交流会





堀田雄一さん圃場にて（妹背牛地区・妹背牛中央）

北いぶき管内では七月中旬より、令和四年産麦の収穫が始まり、七月二十一日に妹背牛麦集荷調製施設、二十二日に沼田農産調製施設にて集荷を開始しました。

品質・歩留まりについては良好で収量については、平年並みとなっております。

なお、刈り取り作業及び集荷作業は八月上旬に終了しております。

令和四年産 麦の収穫・集荷が行われました



田中康雄さん圃場にて（秩父別地区・稲豊）



南裕之さん圃場にて（沼田地区・沼田西部）



集荷された麦のサンプルを採取するJA職員



秩父別地区

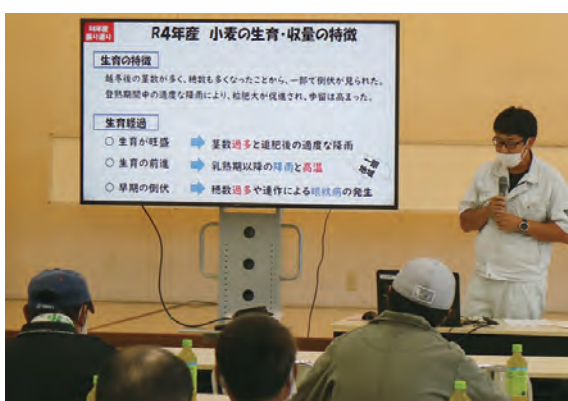
秋まき小麦

播種前講習会

八月二十二日から二十四日の三日間、各支所にて「秋まき小麦播種前講習会」を開催しました。

普及センターより、令和五年産秋まき小麦の栽培に向け、「播種のタイミングに応じた適正播種量の目安」、「越冬前の雑草対策・病害防除」、「倒伏対策」等について多岐に渡り調査報告・説明がありました。

さらに、J A技術指導員より、「秋まき小麦増収実証圃から学ぶ



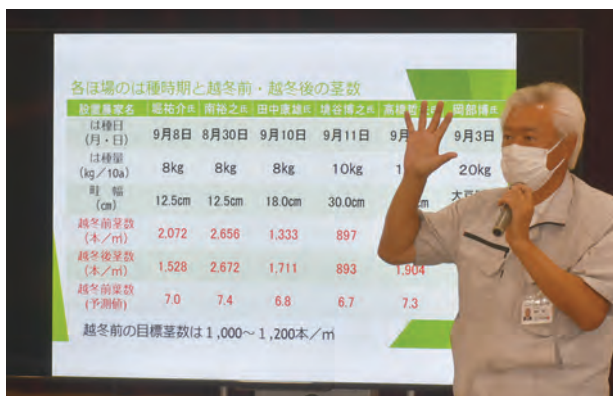
普及センターによる説明

追肥技術」として、管内六箇所の実証圃の傾向から、増収に向けて、越冬前後の適正な茎数確保を目標とした追肥の調整について説明しました。

また、生産資材課より、「雪腐病」に対する防除薬剤の使用に關した説明会並びに安全講習会を開催。メーカー担当者から登録内容・薬剤特性・注意事項について説明を受けました。



妹背牛地区



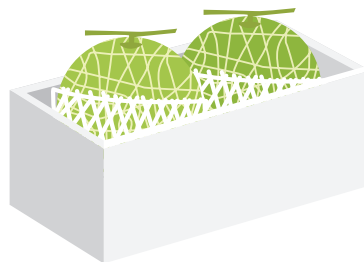
JA関崎技術指導員による説明



沼田地区



箱詰めされた出荷前の製品を確認する生産者の皆さん



北いぶきメロン生産組合 目揃い会

七月二十三日、秩父別支所十五号倉庫にて、北いぶきメロン生産組合（松永徹組合長）は、目揃い会を開催しました。

JAより七月二十二日付での出荷状況として、計七六六ケース。宅配注文状況については規格別に計二、〇八二ケースであることを報告しました。

その他、集荷日時、手数料や精算要領、糖度や重量・玉数などの箱詰要領、また、十一月に企画している研修旅行について案内させて頂きました。



規格サイズを比較し、確認する生産者の皆さん

北いぶき蔬菜類生産組合

ミニトマト目揃い会

七月二十日、北いぶき蔬菜類生産組合（眞島秀樹組合長）ミニトマト部会は、秩父別農産物集出荷施設にて令和四年産ミニトマトの目揃い会を開催しました。

JAより、集荷時間・選果休日の案内や出荷規格について、当日選果されたミニトマトの品質や形状、また色については道外向けと道内向けの出荷先別で説明し、参加した生産者全員で再確認しました。

JA北いぶきでは七月八日よりミニトマトの選果・出荷が始まり、七月下旬から八月にかけて出荷の最盛期となりました。





JA職員が米施設内を案内し、
操作盤を基に調製の流れを説明しました



コープさっぽろ 「田んぼの生き物調査隊」ツアー

七月十六日、沼田町内水稻生産者の圃場にて、コープさっぽろ「田んぼの生き物調査隊」ツアーが開催され、関係者を含め三十一名が参加しました。

お子さんを中心に圃場周辺の畔や田んぼに浮かぶカエルや昆虫を見つけては、熱中して捕まえていました。各々捕まえた生き物は参加者同士で発表し合いました。

その後は、JA職員案内により、カントリー施設・雪むろを見学し、お米への取り組みに参加者の皆様へ説明させて頂きました。



参加した皆さんにはかき氷が振舞われました



大盛り上りのメロンクイズ



メロンを落とさないように慎重に皿敷きを行いました

沼田小学校 メロン体験学習 皿敷き体験

八月二十四日、沼田町「農天気の会（藤村富士子代表）」は、辻則行さん（沼田地区・沼田東部西）の圃場にて、沼田小学校四年生児童十二名とメロンの皿敷き体験を行いました。

六月に定植したメロンはきれいにネットが張り、収穫適期まで二十日程と成長していました。「皿敷き」は、病気や傷を防ぐ目的で、通常はネットが張る前に行われる作業です。

児童たちは「うでぬき」姿で、片手で大きく育ったメロンを持ち上げながら、皿敷き体験を行いました。

その他、収穫の終わったハウスにて、残された皿を一人一〇〇、二〇〇枚も拾い集め、メロン生産者の作業を体験しました。

また、普及センター職員によるメロンに関するクイズを実施し、道具の使用方法やネットの網目ができる理由など、体験中に学んだ事を復習しました。

絆

～ THE YOUTH FACE ～



田丸 雅統さん

秩父別地区・北新農事組合

作付品目
水稻・花卉・ニンニク



田植え作業中の田丸さん

就農したきっかけ

祖父母、両親が農業をしている環境で「いつかは農家を継ぐ」と思っており、三十歳を過ぎ子供も生まれたことを機に就農しました。前職とは異なり、屋外での自然相手にする仕事で就農当初は色々と苦労をしました。

これからの営農にむけて

米価の下落、資材の高騰など厳しい状況ではあるが、食の安全・安心を目標に営農していきたいです。また、知名度が上がった北海道米品質

向上を目指していきたいと思っています。ICTを活用し省力化等も考えていかなければと思っています。

現在は、親と共に営農をしているが、この先、今まで通りの営農ができなくなると思うと不安はあります。

青年部での活動を五年ほど経験し、他地域との情報交換や交流の場として楽しく参加しています。

青年部活動への思い

役員も三年務めさせて頂き、コ罗纳禍ということもあり、思うような活動はできておりませんが、青年部でしかできない活動がたくさんあるので、今後の盟友にもつながる運営をしていきたい。



水稻の収穫作業にてコンバインを操作する田丸さん

新青年部盟友紹介

令和四年度からJ A北いぶき青年部各支部に加入した新たな盟友たちを紹介致します。

前田 俊哉

(妹背牛地区・妹背牛北)



分からない事ばかりですので、先輩方のアドバイスを聞きながら頑張っていきたいです。

斉藤 健太

(沼田地区・沼田東部西)



農業を学び、そして仕事も早く一人前にできるようになるため頑張ります。

畑地 建

(沼田地区・沼田東部東)



一人前になれるように頑張りたいと思います。

桃野 翔太

(秩父別地区・穂栄)



青年部の先輩方の声を吸収し、一人前の農家になれるよう頑張ります。

藤岡 寛

(秩父別地区・稲豊)



父のようになれるよう頑張ります。

金森 健汰

(秩父別地区・穂栄)



農業で地域に貢献できることを目標に頑張ります。

山崎 蓮

(秩父別地区・穂栄)



一人前になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

理事会報告

第六回理事会（七月二十八日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 反社会的勢力等との取引排除にかかる対応事務手続に基づく「反社会的勢力の認定結果」について
- JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング」について
- 固定資産の取得・処分、主要修繕費の支出について
- 令和三年度経営分析結果について
- 組合員組織会計事務取扱要領の一部改正について
- お盆休暇と各部門の業務対応について
- 準職員の動向について
- 賃貸物件の解約通知受領について
- 令和三年度 支所別・部門別損益計算書

金融共済事業本部

- 長期資金の貸し出し状況について

- 職務権限表（職制規程）の一部改正について

営農販売事業本部

- うるち米を巡る情勢について

- 令和四年産民間流通麦の全道共計概算金について

- 令和四年産麦の出荷状況について

- 花卉・蔬菜取扱実績について

- 水稻防除の実施状況について

- 令和四年度水稻・畑作品目別作付面積調査について

- 農産物の生育状況（七月十五日現在）について

購買施設事業本部

- 令和四年使用 肥料大口引取奨励実績について

- 購買施設事業実績検討表（六月末）について

【決議事項】

議案第一号

- 随時監査に係る監査結果の承認について

議案第二号

- 「会議体管理規程」、並びに「余裕金運用にかかるリスク管理手

続」の一部改正について

議案第三号

- 「事務引継規程」の一部改正について

議案第四号

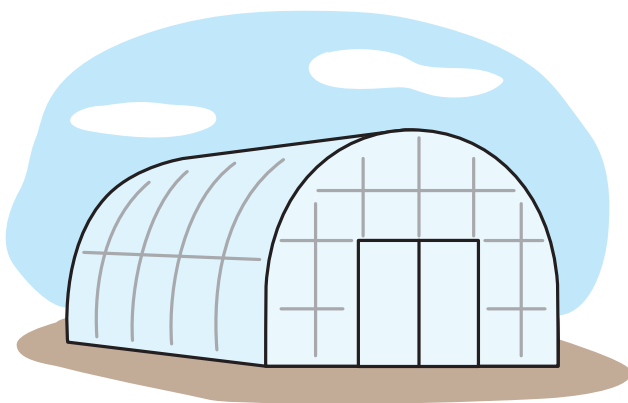
- 「福利厚生規程」の一部改正について

議案第五号

- 固定資産の取得について

議案第六号

- 理事に対する利益相反取引の承認について



職員動態

□退職（七月二十二日付）

鈴木 久昭

（秩父別支所農機車輛課農機車輛係）

□退職（七月三十一日付）

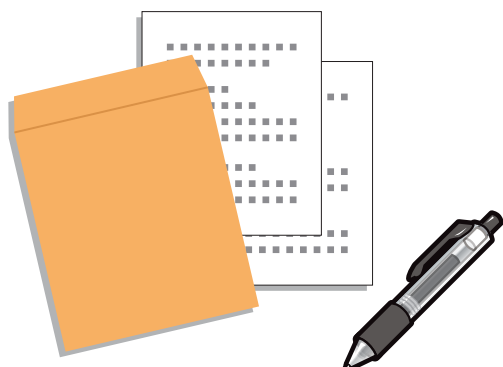
丸谷 みずえ

（沼田支所燃料課燃料係）

□退職（八月四日付）

小竹 真二

（生産資材事業部生産資材課生産資材係）





手作業での藍染を体験



ウポポイ（民族共生象徴空間）にて

七月六日・七日、J A北いぶき沼田支所寿会（沼本幸子会長）は、

女性部沼田支部寿会 研修旅行

道南方面への研修旅行を開催し、九名の会員が参加しました。

一日目は、白老町の「ウポポイ国立アイヌ文化博物館」にて、アイヌの歴史・文化について、豊富な映像と資料を会員は興味深く視察していました。

その後、伊達市にある「藍工房」にて、バンダナの藍染体験を行いました。天然藍の美しさを感じることが出来ました。二日目は、白鳥大橋記念館と地球岬展望台を視察し、非常に学び多い研修となりました。



きれいな藍色に染まりました



女性部妹背牛支部 部員研修旅行

七月七日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は、千歳・札幌・岩見沢方面へ部員二三名参加のもと、部員一日研修を開催しました。

はじめに、新千歳空港にて昼食をとり、特産品等のお土産選びを楽しみました。その後は、札幌市の「円山動物園」を訪れ、心癒されるかわいい動物たちを見て回りました。最後に、岩見沢市の「天然温泉ゆらら」にて夕食を取りながら、懇親を深めました。

コロナ禍により、当初計画の視察先での研修はできませんでしたが、三年ぶりの部員研修を開催できたことで、参加した部員の皆さんは、有意義な時間を過ごすことができました。



この日は気温が高く、かき氷も盛況



青年部妹背牛支部 豊年祈願出店祭り



青年部秩父別支部は「ヨーヨーすくい」や「かたぬき」の出店で参加しました

七月九日、青年部妹背牛支部（長谷修幸支部長）は、妹背牛支部所駐車場にて豊年祈願出店祭りを開催。会場での飲食を伴う「焼肉祭り」に代わる事業として、焼き鳥を中心とした持ち帰りのみの出店を用意し、妹背牛町民を対象とした開催となりました。

当日は、青年部沼田支部より盟友が応援に駆け付けたほか、秩父別支部の出店もあり、会場は賑わいを見せていました。



女性部妹背牛支部 役員連絡委員会合同一日親睦会

七月二十九日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は、妹背牛温泉ペペルにて講習会並びに役員・連絡委員会合同一日親睦会を開催しました。

講習会では、『栄養の摂りやすい食べ合わせについて』妹背牛町管理栄養士の小森有華氏を講師にお招きし、「栄養素を一日どれくらい摂ると良いか」、また、体調に合わせて予防・回復の食事について「疲れやすい時」「貧血予防」「更年期障害」「骨粗鬆症予防」には何を食べると良いかといった内容で、大変ためになる講習になりました。

その後は、役員と連絡委員の親睦を深めるため食事をし、間にビンゴゲームを楽しみました。





JA グループ通信



各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆SAPPORO COLLECTION に出店!!



5月29日に開催された札幌コレクション(サツコレ)にJAグループ北海道のブースを出店し、若年層に対する北海道産のお米と砂糖の消費拡大などのPRを行いました。

当日は、北海道米 LOVE 又は、本会の Instagram をフォローして頂いた方に、道産食材を使用した限定ガールズ小結(おむすび)2個セット100個、限定苺団子300個をプレゼントし、多くの若者に足を運んでいただけました。

砂糖の消費拡大・イメージアップに向けた「天下糖一プロジェクト」のブースでは、OKASHI GAKU とのコラボで缶入りケーキ「ふわ缶〜ピンク〜」を特別価格で販売し、150個完売となる大盛況ぶりでした。

今後も北海道の食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、若年層への情報発信も強化してまいります。



JA北海道信連



◆人事交流

JAとJA北海道信連との間で相互に職員を出向させる「人事交流」をH22年度から実施しています。コロナ禍で中断していましたが、2年ぶりに再開し、今回は「JAそらち南」との人事交流です。この取り組みを通じ、JAバンク北海道の体制・機能強化と人材育成を図ってまいります。

◆よりぞうクラブ北海道

全道150名様に当たる「特産品カタログ」などのお得な情報を配信中! 「友だち登録」をお待ちしています!



JAバンク北海道 公式LINEアカウントできました。

よりぞうクラブ
北海道



友だち登録は
こちらから!

JA共済連北海道



◆3台の救急車を寄贈

本年も地域社会貢献活動の一環として、道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しています。

今年度は、滝川消防署・弟子屈消防署・稚内消防署に計3台を寄贈しました。

今年度の救急車を含めると、寄贈台数は累計で215台となりました。

今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安全・安心を提供し続けるよう努力してまいります。



(写真は、昨年度実績です)

ホクレン



◆北海道米の消費拡大イベントを開催

7月2日(土)に札幌ドームで行われた北海道日本ハムファイターズ VS オリックスバファローズ戦に合わせて

『北海道米ななつばしの日記念

ホクレン北海道農業応援 DAY』

を開催しました。

当日は、北海道米の消費拡大に向け「記念ブース」と「日本酒試飲ブース」を設置し、来場者へサンプル配布やInstagramのプレゼントキャンペーンなどを展開しました。



JA北海道厚生連



◆札幌厚生病院で癒しの空間を提供

札幌厚生病院の本館入口に「タリーズコーヒー」がオープンしました。帯広厚生病院に次ぐ2店舗目となります。

5月10日のオープン当初より多くの患者様などにほっとできる癒しの空間としてご利用いただいています。

札幌厚生病院にお越しの際は、おいしいコーヒーでリフレッシュしてみませんか?

今後も地域の皆様に愛される取り組みを行ってまいります。



いつ起こるか分からない
火災等・自然災害に備える



農業用建物内収容品保障プラン

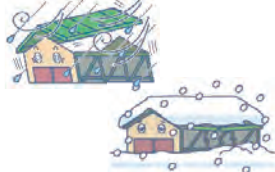
例えば、このような事故・災害が発生しても・・・

火災



・バッテリー、配線ショート等による**火災**で収容品が損傷した

風・雪害



・**大雪**により建物が倒壊し収容品が損傷した

盗難



・建物に収容されていた農業機械が**盗難被害**を受けた

その他

・**地震**により建物が倒壊し収容品が損傷した
・建物内をトラクターで走行中、運転操作を誤り衝突した**農業機械**が損傷した※
※トラクターの損傷は除きます

※建物内に収容されている時に生じた損害に限ります。

J Aのむてきプラスがしっかりと保障します！

POINT 1

火災はもちろん、地震や自然災害まで幅広く保障します！

※共済金のお支払いには所定の条件があります。

POINT 2

買い替え・修理にかかった実損害額を保障します！

※約款に定める基準により算定した損害額について、火災共済金額を上限にお支払いします。
※地震等による損害を除きます。

POINT 3

共済掛金の一部を必要経費に計上することができます！

※お支払いいただいた共済掛金のうち、満期共済金に充てるための積立共済掛金に相当する額を控除した残額を必要経費とすることができます。

ご契約例【保障の対象：営業用什器備品】

火災共済金額	1,500 万円	満期共済金額	50 万円
--------	----------	--------	-------

※共済価額:1,500 万円 臨時費用共済金の支払割合 30%

共済掛金（払込方法：年払 口座振替扱い）

（2022 年 4 月現在）

農作業場・倉庫など（普通物件第 1 種）

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30 年 (10 年継続 2 回)	87,734	60,117	50,282
20 年 (10 年継続 1 回)	95,856	68,246	58,414
10 年	120,702	93,113	83,290

籾・雑穀乾燥施設※など（普通物件第 2 種）

※火力乾燥を行うもの

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30 年 (10 年継続 2 回)	93,534	60,953	53,145
20 年 (10 年継続 1 回)	101,646	69,081	61,276
10 年	126,457	93,941	86,148

※お引受けには所定の条件があります。

※継続特約を付すことにより、通算の共済期間を 20 年または 30 年にすることができます。継続後のご契約に適用される約款・掛金率は、継続の時の約款・掛金率となります。

※記載の税務の取扱い、2022 年 1 月末現在の法令等および国税当局への照会結果に基づくものであり、将来の取扱いを保証するものではありません。

Q1: 農業用物件とは？

A1: 農作業場、糶乾燥施設、個人が所有する住宅敷地外の倉庫や農業法人が所有する倉庫などをいいます。

※住宅と同一敷地にある納屋や格納庫は「住宅物件」となり、それらの建物に収容されているものは「家財家具」となります。（お引受けには所定の条件があります）



Q2: 保障の対象になる収容品とは？

A2: 以下のような収容品が対象となります。

項目	具体例
農耕作業用 小型特殊自動車	トラクター、コンバイン、田植機など ※道路運送車両法に規定する自動車を除きます。
農業機械	スプレイヤー、モアコンディショナー、ロールベラーなどの被けん引作業機 糶乾燥機、糶摺機など ※ 1 つあたり再取得価額 1 億円以内のものに限ります。
農具	農業に使用している工具や鍬など
農業用資材	農業に使用する農薬、肥料、飼料、牧草ロール、エサ用のわらなど ※商品は除きます。
その他	冷蔵庫、洗濯機など

※表記は一例です。

※外壁の一部または全部を欠く建築物（特定建築物）の収容品はお引受けできません。



**いつ起こるか分からない
火災等・自然災害に備える**

お問い合わせ先

J A 北いぶき

本 所 共 済 課 0164-33-2011
妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
沼 田 支 所 貯金共済課 0164-35-2221



※お引受けには所定の条件があります。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22019990068】

PHOTO だより



「生花リレー」
秩父別温泉ゆう&ゆにて、
越智利政支部長(左)

「生花リレー」
沼田町役場にて、
室田健一支部長(左)



「生花リレー」
妹背牛町役場にて、
原力哉支部長(中)と
定講保男さん(右)

8月18日、
ちっぷ納涼盆踊り大会が
開催されました



8月27日、
JA北いぶき女性部
加入推進イベントを開催



8月26日、
青年部秩父別支部は
秩父別小学校児童を対象に
食育事業を実施しました



8月10日に秩父別地区、
12日に沼田地区、
23日に妹背牛地区にて、
農業空容器等回収を行いました
(写真は秩父別)

